

◎野畑小学校にキジの剥製

今年、創立40周年を迎えた野畑小学校は、昭和49年の開校時は雑木林などに囲まれていました。「ノバード」という愛称で児童に親しまれているキジの剥製は、校舎の窓ガラスにぶつかって絶命したといわれていて、自然豊かだった時代を思い起こさせます。



創立当時、校庭にはタヌキやイタチの姿もあったそうです

自然の恵みにあふれたまちへ行こう

知識の宝庫がここに

③ 野畑図書館(春日町4丁目)

地下1階には市立図書館の書庫があり、約17万冊の蔵書が収められていて、年4回一般公開しています。また、豊中市出身の作家による小説や豊中市が登場する本を収集していて、1階の「豊中の500冊」コーナーで展示・貸し出しています。



坪内逍遙訳のシェークスピア作品

縄文時代初期のやり先を発見

④ 野畑春日町遺跡(春日町4丁目)



野畑図書館入口には、遺跡の説明板があります



長さ10.3センチメートルの石のやり先は郷土資料室(東丘小学校内、新千里東町)で展示されています(見学は要申込み)

この地からは縄文時代や弥生時代などの人びとが暮らしていた生活の跡が見つかりました。石のやり先が完全な形で見つかっています。

まちある記

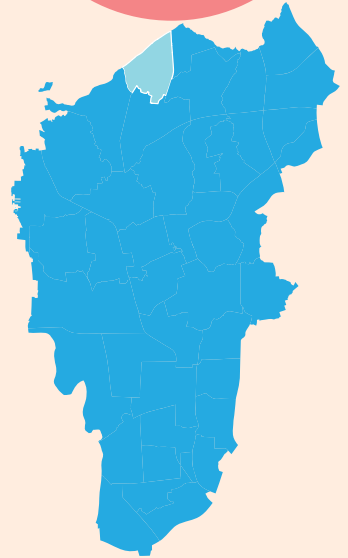
マチカネくんと歩く



第29回

千里川の恵みで古代から栄えたまち
永楽荘から春日町、向丘へ

野畑小学校区



野畑の名の通り、野原や田畑が広がっていました。昭和7年(1932)ごろから住宅開発が進みました。発見された遺跡や千里川の自然が閑静な住宅街と共存しています。

◎梅田のビル群まで見える

千里川の西岸は、刀根山丘陵の一部で坂道の多いところ。永楽荘2丁目・3丁目あたりは其中でも標高82メートルと最も高く、豊中市内や梅田のビル群まで見通せる場所があります。



一望できる場所を探してみてください



自然を生かす
昔の人の知恵

① 桜井谷窯跡群(永楽荘4丁目)

住宅の間から見える窯の跡は、6世紀初めごろの土器の工場。地形や地質など窯業に必要な要素を全て満たしていたこの地域は、堺市と和泉市にある泉北丘陵と並んで府内の須恵器の二大生産拠点でした。

1

2

永楽荘

住み良い住宅地を次代に継承

② 桜並木のあるまち並み(永楽荘3丁目)

昭和初期に住宅地として開発された地域です。建て替えや新たな開発からまち並みを守ろうと平成9年(1997)に市内で初となる景観形成協定が結ばれました。緑豊かで閑静な環境が保たれています。



緑豊か
まち並み
守ろうと
平成9年
市内で初
となる
景観形成
協定が
結ばれ
ました。

野畑テニスコート

森田緑地

野畑図書館

春日町

野畑南公園

◎市民の力でヒメボタルを守り育てる

春日町2丁目・3丁目にある竹やぶと草地に、大阪府準絶滅危惧種のヒメボタルが生息。市や「豊中ヒメボタルを守る会」などがエサの育成をしたり、竹を間伐したりと保全活動を行っています。毎年5月～6月初旬には、ヒメボタルが発光し、幻想的な風景を見ることができます。



安心して水遊び

⑤ 野畑親水公園(向丘2丁目)

千里川に下りて水遊びができる野畑親水公園。夏には多くの子どもたちでにぎわいます。大雨などで上流が増水したときは、放送と回転灯で知らせます。



12月号は千成小学校区をご紹介します。お楽しみに。